

本書の構成・利用法

case

数多くの申請書をみてきた著者が様々な分野からの例文を厳選し、審査委員目線でコメントしています

❷ 研究目的（概要）

Case 12

唐突なはじまりで読みにくい

申請分野

比較的よくみられるなど関連の深い分野がある場合は濃く示します

どこがよくないか

例文1

研究目的（概要）

ヒトが癌の角質層に治療薬（レーザー共焦点顕微鏡）

例文2

研究目的（概要）

※当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。
人の欲求に関する専門の情報処理は記憶活動を促進する。Enriánらは生存欲求が、欲求の階層構造の最下層に位置し、その情報処理が記憶活動を促進することを報告している。しかし申請者らは、より上層の欲求である目標達成欲求に隣接する情報処理が、意味的情報処理よりも記憶活動を促進することを見だした。そのため、欲求の階層構造における各階層の欲求が記憶活動にどのような効果を及ぼすかを比較し、欲求の階層構造に対応して記憶に及ぼす効果が変化するかどうかを検討することなどが、第1の目的である。

重要度 ★★★ ← → ★☆☆

(採択に影響大) (審査委員の心証次第)

頻度 ★★★ ← → ★☆☆

(まずはここを直すべし) (配慮できれば二重丸)

インデックス

8つの改良方針（ふさわしく／はっきりと／具体的に／簡潔に／推敲のヒント／レイアウト／図表／アピールする）で該当するものを濃く示します

申請者のギモン

フォントの相談や図版の見栄えなど、申請者からありがちな30の疑問について具体的に回答しています

申請者のギモン1 ひらがなと漢字

確かにことだが、漢字で書くのがいいのか、それともひらがなで書くのがいいのが迷う。例えば、語句をつける場合の「及び」と「および」、どちらがよいのだろうか？

審査委員としては基本的に「及び」と「および」のどちらでもよいが、個人的には本文に漢字が多いときや、前後の漢字である場合はひらがなの「および」を使う方がよいと思う。これは不必要的漢字を減らすこと、本文を読みやすさと読むこと、キーワードとなる専門用語（カタカナでない場合は漢字であることが多い）が目に入りやすくなることを期待して、である

さらに…

アドバイス

著者からのアドバイスを示します。自分の申請書に応用してください

アドバイス

書きはじめには2つのパターンがある。迷ったら「本研究の目的は」or「背景」から書きはじめよう

添削例

例文1

研究目的(概要) 当該研究計画の目的について、概要はまとめてヒト皮膚の角質層に治療液が浸透する物理メカニズムの解明を目的とする。レーザー共焦点顕微鏡と~

開始部分が唐突。

例文2

研究目的(概要) 当該研究計画の目的について、概要はまとめて人間の欲求に関する院内の情報処理は記憶活動を促進する。Emotionの最下層に位置し、その情報処理が記憶活動を促進することをより上層の欲求である目標達成欲求に反映する情報を処理する機能があることを見いたしました。そのため、欲求の階層構造における各結果を及ぼす力を比較し、欲求の階層構造に対応して記憶に及ぼすことが、第1の目的である。

背景が長すぎる、目的との境目がはっきりしない
解決すべき課題は?

なぜよくないのか？

どのように改良すればよいか？

申請書ならではのポイントと改良の方針です。わかりやすいよう具体的に例文から、そして応用しやすいよう一般化した文脈からも解説します

どのように改良すればよいか？

申請書での文章のはじめ方「開口部」は、「本研究は」本研究の目的2つ目は、まず「背景」を書くばかりにそのまま研究の「背景」では、まず一般的な研究の背景(とそして重要なことは、その後に記述する)の説明をその後に記述する。例文1は冒頭に簡単に「本研究の

例文2は「背景」と解決すべき問題内の情報処理は記憶活動を促進する。それを解決するためにどの

例文1は「概要」当該研究計画の目的については、ヒト皮膚の角質層に治療液が浸透する。レーザー共焦点顕微鏡と~(以

なぜよくないのか？

例文1は「目的」から書いているが、このはじめの方はあまりにぶつまらばうだ。短くはないがもう一工夫できる。

例文2は研究の「背景」をまず書いているが、解決すべき課題を書かずには、そのまま現在の状況を述べると書き綴りてしまっている。

いずれも審査委員によってはわかりにくさを感じる原因になる。申請書の開

例文2

研究目的(概要) 当該研究計画の目的について人間の欲求の階層構造を示し、欲求に照する脳内である。しかし、階層構造に対応して記憶活動を促進Emotionは生存欲求が、欲求の階層構造の最下層にを報告している。申請者は、より上層の欲求で情報処理よりも記憶活動を促進することを見いたしました。本研究では、欲求の階層構造における各階層の記憶活動に対応して記憶に及ぼす効果がである。(以下略)

書き方のポイントを身につけたい

- ① **どこがよくないか** の例文を使い、case タイトルをヒントに添削の腕試し
- ② **アドバイス 添削例** でポイントを確認！
- ③ **なぜよくないのか？ どのように改良すればよいか？** を熟読すれば、セルフチェック力も鍛えられます
- ④ ふとした思いつきは **申請者のギモン** に類例がないかチェック！

申請書のブラッシュアップに役立てたい

※申請書の草案を用意（草案作成に難しさを感じる場合は「補遺」を参照してください）

- ① セルフチェック／第三者チェックで、改良すべき点をあげ出す
- ② 目次や付録、索引を活用して自分の改良すべき点に近い case にアクセス！
- ③ **どのように改良すればよいか？ 改善例** を参考に、改良してみましょう
- ④ ①～③を繰り返して、魅力的な申請書に仕上げ、応募！